

# 旧備中松山藩御茶屋落成記念講演会



幕末に藩政改革をすすめていた山田方谷は元締役を辞した後、安政6年(1859)4月、長瀬(現・JR伯備線方谷駅)に住居を移したが、年寄役助勤として引き続き藩政に参画することとなったため、この御茶屋を城下滞在時の宿舎とした。

現在の施設は、御茶屋跡に唯一残されていた建造物を、水車とともに高梁市奥万田町地内に整備した。

## 演題「山田方谷と河井継之助」



山田方谷に師事を受けた河井継之助は、越後長岡藩出身で、司馬遼太郎著書の「峠」の主人公でもある。帰国後に、長岡藩の藩政改革に携わり郡奉行や家老上席などを歴任の後、軍事総督となり北越戊辰戦争で指揮をとる。

また、継之助の西遊学日記「塵壺」の中で、備中松山藩での生活についての記述も多く残されている。



講師 稲川明雄 氏  
(河井継之助記念館館長)

昭和19年長岡市生まれ。長岡市史編さん室長、長岡市立中央図書館長を経て、現在、河井継之助記念館館長、長岡造形大学非常勤講師、長岡ケーブルテレビ歴史アドバイザー。

著書に「互尊翁」、「龍の如く」、「風の雲の武士」等多数。

日時

6月9日(日)13時30分開演(開場13時)

会場

高梁市文化交流館中ホール

入場

無料

問い合わせ先

高梁市まちづくり課 ☎21-0257